

# 設置から投入前までの 準備

## まずは設置しましょう

- ① 屋外の日当たりが良く、風通しが良いところに設置します。  
(最低でも3時間以上日が当たる場所に置くようにします。)
- ② 容器内に黒土(14Lを2袋)を入れます。

- 土の温度が高いと分解が早まります。
- 表面の土が乾いていることで、虫や臭いの発生を抑えられます。
- 生活の動線に近い場所の方が手間なく続けられます。



寸法：幅70cm×奥行45cm×高さ33cm

## 生ごみを貯めましょう

- 基本的に、人が食べるものは分解できます。
- 生ごみの分解には水分が必要なため、水切りをする必要はありません。
- 貯めるときに冷凍庫に保管すると、保管時の臭いを抑えることができ、分解も早くなります。

# 生ごみの投入方法

## ① 穴を掘る



投入毎、左または右に穴を掘ります。(15cm程度)

- ・表面の乾いた土は後でまた被せるので、まとめておきます。
- ・穴が浅いと臭いや虫の発生原因になります。

片手にのる程度(400g)の生ごみを入れます。

- ・大きいものはスコップで細かくすると分解が早まります。

## ② 生ごみを入れる



土と生ごみをよく混ぜながら埋めます。

よけておいた乾いた土を表面に被せます。

## ③ 穴を埋める

